

宮城県看護協会

気仙沼支部だより 号外

2024年9月発行

ふれあい看護体験

7月31日(水)開催 in南三陸病院

8月06日(火)開催 in気仙沼市立病院

小学生のなりたい職業ランキング上位だった看護師ですが、現在は、女子児童の部8位です。(日本FP協会小学生『将来なりたい職業ランキング』より)

気仙沼市は、看護学校2校の閉校と気仙沼市立病院附属看護専門学校も定員割れし、少子化や看護師不足が深刻化していることが分かります。今回、気仙沼支部では気仙沼市立病院だけでなく、南三陸病院でも“ふれあい看護体験”を企画しました。その時の参加された学生さんの思いや表情をお伝えしたいと思います。



受診をするとお菓子がもらえた経験から看護師を目指した水戸支部長。役員一同、企画しながらも一緒にイベントを楽しんでいます!

南三陸病院より

南三陸病院では、7月30日(水)にふれあい看護体験を実施し、4名の高校生が参加をしてくださいました。初めて入る療養病棟やリハビリ室に緊張の面持ちでしたが、スタッフや患者さんと触れ合っていると、自然に笑顔がこぼれていました。『寄り添う看護』がみえた南三陸病院からの報告です。



大変なイメージが強かったですが、看護1つ1つの時間が患者さんと向き合えてやりがいのある仕事と思いました。



患者さん一人一人に思いやりを持って接していたのが印象的だった。患者さんへの気遣いや表情がすごいと思った。

看護師のみなさんが患者さんによって話し方を変えているのが印象に残った。患者さんが何歳でも寄り添ってあげるのが大切と思いました。



とても楽しかったです。洗髪が難しかったですが、患者さんが気持ちいいと言ってきて嬉しくなりました。

南三陸病院 つづき…

将来像はもう決めていたが、医療関係の興味も少し出た。将来のビジョンが広がった。



血圧を測ったり、聴診器を使ってみたり看護師らしい貴重な体験ができた。参加してよかった。

南三陸病院では、4名の学生さんが参加してくれました。初めての企画になりましたが、リハビリ室の見学や患者さんへ行った洗髪など貴重な体験ができ、感想からも『寄り添う看護』が見えるようでした。



気仙沼市立病院より

気仙沼市立病院のふれあい看護体験では、手浴や足浴、赤ちゃんの抱っこ体験等を行いました。看護のひろばに続いて多くの参加があり、看護師への関心が伝わってきました。感想を一部ご紹介したいと思います。

- ・患者さんが、看護師さんを縁の下の力持ちと言っているのがとても印象的だった。
- ・看護師さんが患者さんのちょっとした一言や表情から気持ちをくみ取っている姿がとてもかっこよくて印象的でした。
- ・臨機応変に対応している姿もかっこよかったです。
- ・実際に妊婦さんと赤ちゃんに触れたことが印象的でした。
- ・助産師も良い仕事だなあと感じた。

看護体験に緊張の表情



グループワークも緊張の面持ち

足浴を経験させてもらいました。



循環器の医師から治療について、病棟師長からも電子カルテについて優しくご指導いただきました。ご協力ありがとうございました！



編集後記

今回は、南三陸病院と気仙沼市立病院で行われたふれあい看護体験の紹介でした。緊張と不安な気持ちの学生さんに、患者さんからも看護師になるためのアドバイスをいただいたり『ありがとう』『満足でした』の言葉で学生さんも笑顔になっていました。そして、またも“かんごちゃん”が登場！気仙沼に移住しているという噂も・・・？